

採卵鶏の飼養動向



農林水産省から平成28年7月5日に畜産統計（各年2月1日現在（速報値））が公表されましたので、採卵鶏の調査結果について、その概要を紹介します。

1. 飼養戸数

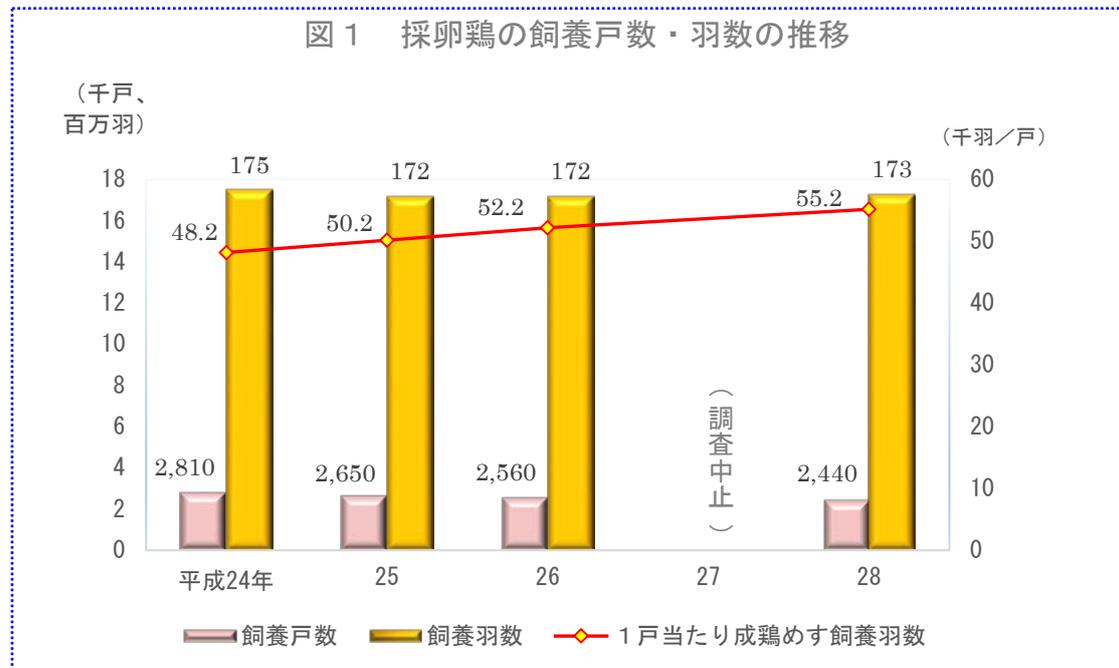
採卵鶏の飼養戸数は、小規模階層飼養者の廃業などから2,440戸と、前回（平成26年（以下「前回」という。））に比べ、120戸（4.7%）減となっており、近年は4～6%程度の割合で減少が続いています。

2. 飼養羽数

採卵鶏の飼養羽数は、1億7,335万羽で、前回に比べ100万羽（0.6%）増となっており、近年は横ばいで推移しています。このうち成鶏めすの飼養羽数は1億3,457万羽で、前回に比べ106万羽（0.8%）増加しています。

この結果、1戸当たりの成鶏飼養羽数は5万5,200羽で、前回に比べ3千羽（3.0%）増加しており、規模拡大が進展しています。

図1 採卵鶏の飼養戸数・羽数の推移

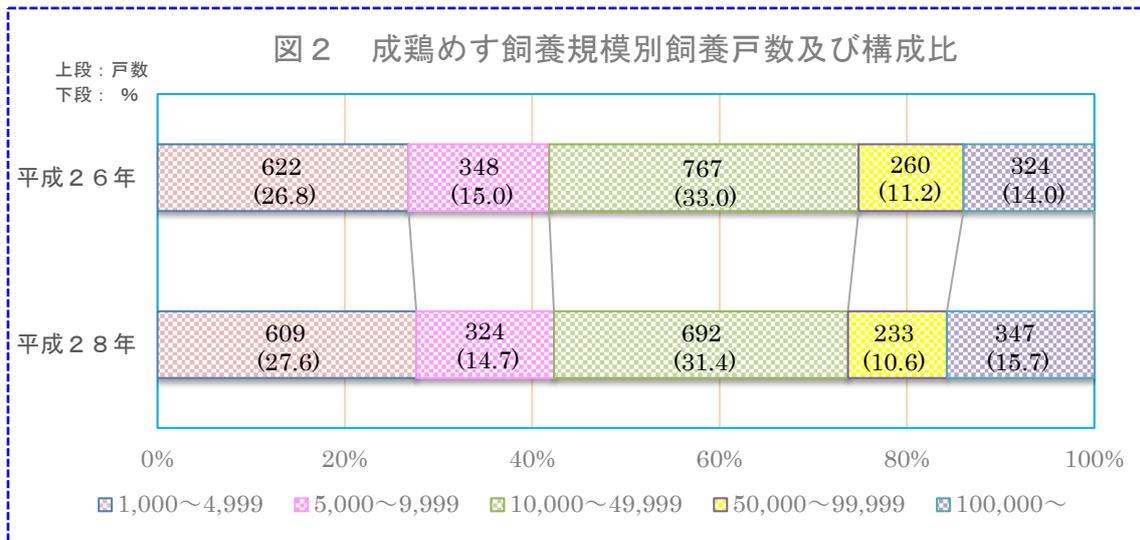


出典：農林水産省水産省「畜産統計（各年2月1日現在）」

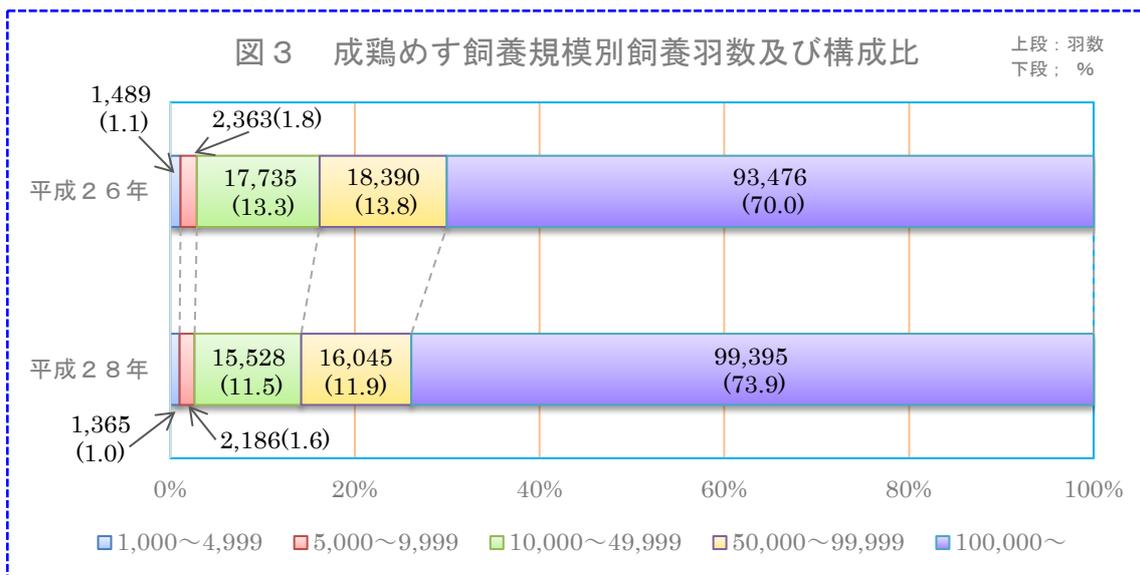


3. 成鶏めすの飼養羽数規模別飼養戸数・羽数

成鶏めすの飼養戸数及び飼養羽数を規模別（学校等の非営利的な飼養者を除く）にみると、飼養戸数は前回に比べ 10 万羽以上の階層で 23 戸（7%）増加したが、その他の階層では減少しています。この結果、10 万羽以上の階層は総飼養戸数の約 16% ですが、飼養羽数に占める割合は 74% となり、大規模階層飼養者の割合は年々高まっています。



出典：農林水産省水産省「畜産統計（各年 2 月 1 日現在）」



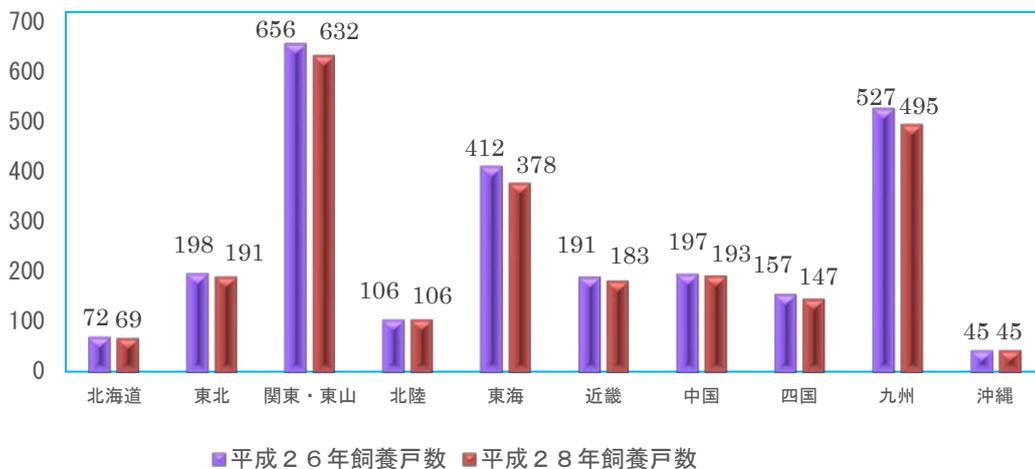
出典：農林水産省水産省「畜産統計（各年 2 月 1 日現在）」



4. 地域別飼養戸数・羽数

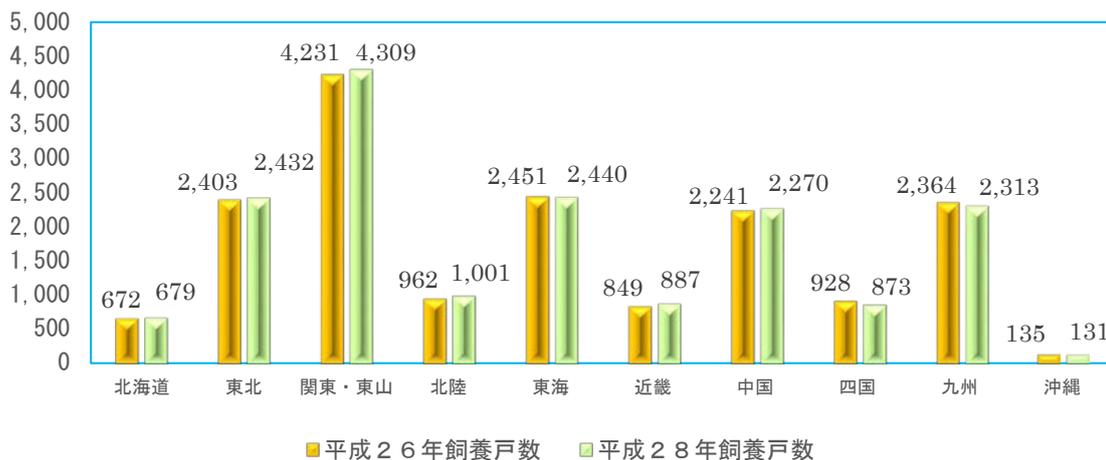
飼養戸数及び飼養羽数を地域別にみると、飼養戸数は、前回並みの北陸及び沖縄を除く地域では前回に比べ減少しています。飼養羽数は、東海、四国、九州、沖縄で減少しましたが、その他の地域は増加しています。

図 4 採卵鶏の地域別飼養戸数



出典：農林水産省水産省「畜産統計（各年 2 月 1 日現在）」

図 5 採卵鶏の地域別飼養羽数



出典：農林水産省水産省「畜産統計（各年 2 月 1 日現在）」



日鶏協ニュース

平成 28 年 7 月号

一般社団法人 日本養鶏協会



鶏卵輸出分科会

2015 年に発足した鶏卵輸出を促進するための会も、6 月の総会をもって鶏卵輸出分科会となり、現在 46 会員(団体 6 社、企業 40 社)と会員数も増えています。

親団体である日本畜産物輸出促進協議会《協議会》には牛肉輸出促進、豚肉輸出、鶏肉輸出、牛乳乳製品輸出と我が鶏卵輸出の 5 分科会となりましたが、鶏卵は牛肉分科会の 51 社に次いで、会員数の多い分科会となりました。鶏卵生産者はもとより鶏卵流通業者、鶏卵加工業者、包装資材業者、商社などが主要メンバーであり、**全会員の願いは「1 個でも多くの『日本のたまご』を輸出すること」です。** そのために

- ・既存輸出 3 か国（香港、台湾、シンガポール）におけるプロモーション活動
- ・新規輸出可能性のある国に対する調査

を頻繁に行うことが必要です。

28 年度において、日鶏協は日本畜産物輸出促進協議会より畜産物輸出特別支援事業の委託を受け、鶏卵輸出分科会の事務局として活動しております。今年度は事業として以下の活動を行っていきます。

1. 海外プロモーション

- (1) 台北「日本のたまご」キャンペーン 9 月 1 日(木)～6 日(火)
- (2) シンガポール「FOOD JAPAN」展示会 10 月 25 日(火)～30 日(日)
- (3) 香港「いいたまごの日」キャンペーン 11 月 3 日(木)～7 日(月)

【活動内容】

現地の流通業者・外食業者の協力をもらい、「日本のたまご」キャンペーンを行う。台北キャンペーンにはたまごソムリエの友加里ちゃんに「日本のたまご」料理教室の講師として料理ショーを行う。シンガポールでは日本の食品、和食等についての FOOD JAPAN にブースを出展し、ミニセミナーや試食を行い、「日本のたまご」の PR を行う。香港では昨年より現地業者による「いいたまごの日」キャンペーンが展開されており、今年は日本より専門講師を派遣



して、現地料理人による「オムライス選手権」を行い、地元メディアへの露出を図る。

2. マーケット調査

- (1) ウラジオストク 8月21日(日)～25日(木)
- (2) 韓国・ソウル 9月26日(月)～30日(金)
- (3) フィリピン・マニラ 12月4日(日)～8日(木)
- (4) マカオ 1月16日(月)～20日(金)

【活動内容】

現地調査会社を訪問し、作成依頼したレポートに基づき現地事情につきレクチャーを受け情報交換を行う。また現地流通業者（食品輸入業者）との面談を行い情報収集をはかる。現地量販店、デパート、伝統市場等での鶏卵販売状況視察を行い、現地鶏卵市場の理解を進め、新規輸出先国とするべきかの判断を行う。

これらの活動は当分科会として事業の一環として行うのですが、これ以外に協議会主導で他の分科会と共に参加する展示会等があります。既に6月21日～26日には台北で開催された FOOD TAIPEI 2016 に当分科会より4名が参加しました。また香港で8月10日～14日に開催されます、香港 FOOD EXPO に3名派遣されます。どちらの展示会もバイヤー対象（B to B）で、「日本のたまご」が目立つ様にセミナー形式のPRや試食を行っています。昨年12月の香港フードフェスティバルより当分科会の試食は「温泉卵スープ」を提供し、出来るだけ「生に近い」食感を訴える作戦をとっています。半熟タイプの温泉卵は東南アジアでも製造されておらず、かなりの来場者には好評でした。



FOOD TAIPEI 2016 での試食風景

鶏卵輸出や東南アジアに興味をお持ちの方は、ぜひ鶏卵輸出分科会に参加して頂きたいと思っております。引き続き海外活動にご協力して頂ける方を探しております。

(事務局：日鶏協内)

TEL：03-3297-5515 担当：島田)



卵に関する新刊紹介



「もっと卵を食べて健康になろう！」が、(株)現代書林のマンガでわかるシリーズから刊行されましたのでご紹介します。

漫画は高倉みどり氏、監修は早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構の矢澤一良教授が努め、厚生労働省が定める「日本人の食事摂取基準（2015年版）」でコレステロール摂取制限がなくなったことを受け、卵を1日に1個以上食べても健康上の問題がないことなどを矢澤先生の解説で、詳しく漫画で読めるものとなっており、卵の消費拡大に適する一冊です。

A 5 版 18 ページ、300 円（税抜）

問い合わせは、(株)現代書林（TEL：03-3205-8384）



暑い夏に効く! たまごレシピ

- 定番★土用スタミナ! シャキッとふわ玉丼

<http://cookpad.com/recipe/3912763>



- オムライス風おにぎらず

<https://nanapi.com/ja/119990>

- 冷やし雑炊☆夏バテ防止サラサレシピ

<http://cookpad.com/recipe/3992821>



協会活動報告

(下線色付き部分はホームページに連結)

1. 各種事業についての報告

(1) 鶏卵生産者経営安定対策事業

① 価格差補填事業の事業参加者との契約数量 (月当たりトン)

平成 25 年度	164,822
平成 26 年度	160,792
平成 27 年度	161,936
平成 28 年度	164,846

② 6月の標準取引価格 191.75 円/Kg (補填なし)

平成 28 年度補填基準価格 189 円/Kg

平成 28 年度安定基準価格 169 円/Kg

③ 成鶏更新・空舎延長事業のお知らせ

成鶏更新・空舎延長事業は、鶏卵の標準取引価格（日毎）が安定基準価格（169 円/Kg）を下回った場合に発動となります。その際、事業に参加して奨励金の交付を受け取るためには別途必要な手続きが必要となることから、発動の際の手続きに必要な書類と書類作成に当たっての留意すべき事項などをご案内した「成鶏更新・空舎延長事業についてのお知らせ」を加入者など関係者の皆様方にお送りしますので、事前に事業へのご理解を深めていただきますようお願いいたします。

(2) 国産鶏卵普及拡大対策事業



本年 5 月 24 日付け「日鶏協回覧板」にて、「いいたまごの日」に向けて、全国の量販店などの卵売場において「オムライス」リーフレットを配布する鶏卵販促キャンペーン活動についてお知らせしたところです。

このリーフレットは、いよいよ 8 月 1 日から 8 月 31 日までの 1 ヶ月間、全国のたまご売場において消費者の皆様へ配布して頂くこととなっております。



また、本年はリーフレットの応募シールを貼って応募すると抽選で「いいたまごの日」になぞらえて 115 人の消費者に卵母（たまも）ちゃんオリジナルグッズセット、親子でオムライスづくりイベントへの参加権などの景品も用意しております。会員各位におかれましても、「オムライス」リーフレットを出来るだけ多くの消費者の皆様に配布し、「いいたまごの日」を盛り上げていきたいと考えておりますので、是非この配布活動にご参加くださるよう、皆様方の絶大なるご協力をお願い申し上げます。

2. 今後の予定

- 8 月 5 日 平成 28 年度鶏卵表示書及び品質調査
- 8 月 12 日 協会夏季一斉休業



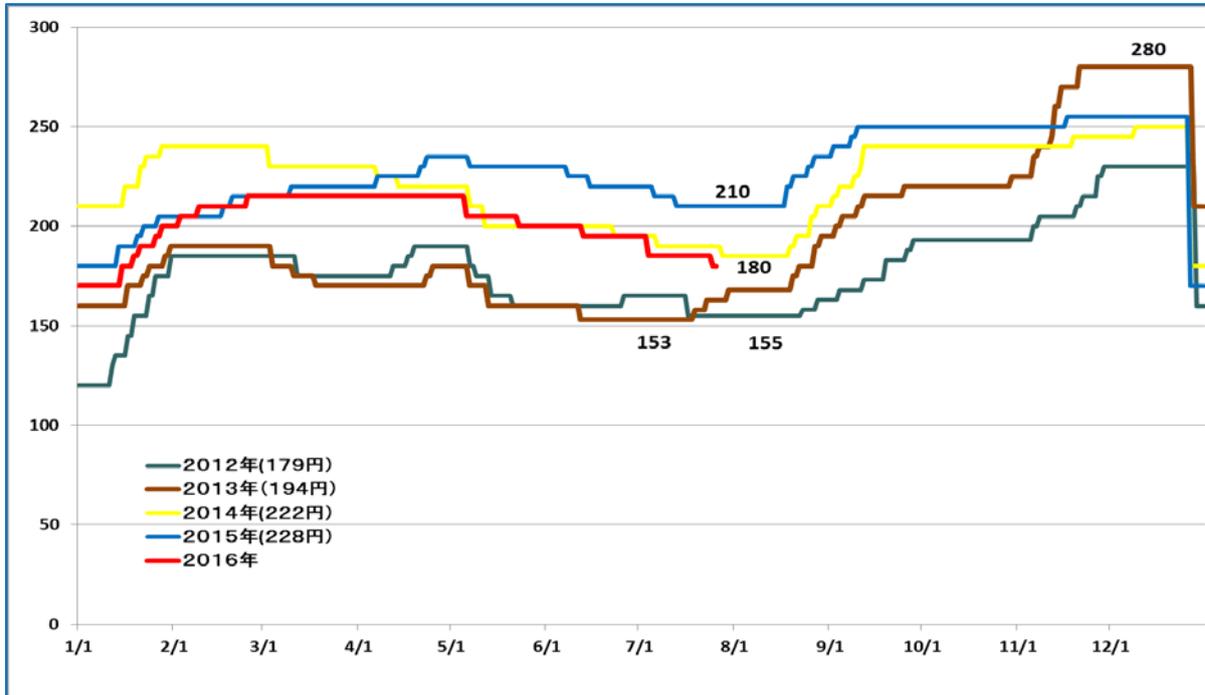
【相場動向】過去 10 年間の 6 月相場

	平均値	高値	安値
平成 19 年	154	165	148
平成 20 年	185	185	185
平成 21 年	160	160	160
平成 22 年	183	190	175
平成 23 年	190	205	185
平成 24 年	161	165	160
平成 25 年	155	160	153
平成 26 年	199	200	195
平成 27 年	223	230	220
平成 28 年	197	200	195
平均値	181	186	178

平成 28 年 6 月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）は 197 円と先月より 7 円安い相場となりました。これは高騰した昨年の 6 月より 26 円安となり、一昨年の 6 月と比べるとやや下回る価格となりました。



【鶏卵相場推移 2012年～2016年 会計年度 東京全農Mサイズ 円/Kg】



平成 28 年の鶏卵相場は、前年より全体の価格水準は下げておりますが、一昨年をやや下回る水準での展開となっております。

【鶏卵関係主要計数】平成 28 年 4 月までの 1 年間の主要計数推移

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(グラム)	前年比	本年	前年
27年6月	9,084	102.8%	454	101.6%	803	94.5%	223	199
7月	8,831	99.6%	461	102.3%	818	101.1%	213	190
8月	7,502	103.0%	427	100.2%	805	100.5%	219	192
9月	8,444	95.6%	455	101.0%	802	97.2%	247	231
10月	8,862	104.3%	476	97.6%	851	103.9%	250	240
11月	8,518	104.7%	461	101.6%	842	99.8%	252	242
12月	9,070	103.0%	518	97.1%	850	96.7%	255	248
28年1月	8,317	97.8%	448	96.9%	833	108.9%	182	192
2月	8,604	104.0%	470	104.6%	845	103.2%	209	209
3月	9,238	99.7%	494	102.9%	865	101.6%	215	219
4月	8,779	104.4%	486	101.4%	890	106.1%	215	227
5月	9,398	104.6%	494	102.9%	889	103.8%	197	223
1年間小計	104,647	101.6%	5,643	100.1%	10,093	101.0%	223	218



- ・ 雛餌付羽数は、前月に引き続き前年同月対比で大きく伸びており、5月までの1年間でもやや伸びています。
- ・ 配合飼料出荷量は、2月以降、増加傾向で推移していますが、1年間ではほぼ前年並みとなっています。
- ・ 鶏卵家計消費量は、本年に入り増加傾向で推移していますが、1年間では前年同期消費量よりやや増加しています。
- ・ これらの統計からすると、供給サイドでの大きな落ち込みも無く、需要も底堅い展開となっています。

夏季一斉休業のお知らせ（8月12日）

当協会では、8月12日（金）を誠に勝手ながら当協会事務局の夏季一斉休業日とさせていただきます。

このため、夏季休業中の各種お問い合わせにつきましては、

8月15日（月）以降の対応となりますので、あらかじめご了承ください。皆様方には大変ご迷惑をおかけしますが、理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

情報提供のお願い

日鶏協ニュースをご愛読いただきありがとうございます。

本協会では、会員の皆様に養鶏に関する有益な情報をお届けするため、「日鶏協ニュース」や「日鶏協回覧板」等により、提供しているところです。今後も皆様に役立つ情報を適切に提供できるよう紙面の充実に努めていきたいと考えております。

つきましては、会員の皆さまをはじめこのサイトをご覧の皆さまから、養鶏や卵に関するニュースや話題のご提供をお待ちしております。

【日鶏協ニュース】 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日 2016年7月29日

編集・発行責任者：小田上浩史(sugomoritamago@jpa.or.jp)

